

3 月号

# ひだまり

わかくさこども園



2023.3.1



こおりになった長いあめ

(2023.2.16)

氷点下の冷え込みで、園庭の築山の傾斜にびっしりとできた霜柱。

朝、最初に園庭に出た子の「こおりだ！！」の声に反応し、  
子どもたちが集まってきた。

ザクザクと霜柱を踏み締めて鳴る音をひとしきり楽しんだあと、  
スコップを持って、“こおりの採掘”が始まる。

夢中になっている子どもたちに、

「どうしてこんなところにこおりがあるんだろうね」と聞くと、  
一人の子が教えてくれた。



「長くて細いあめがいっぱい土の中に入って、こおりになったんだよ」



## 3月の予定

【幼稚園午前保育】

13日（月）～15日（水）

17日（金）

3日（金）ひなまつり

8日（水）避難訓練

10日（金）お別れ会

16日（木）卒園式（幼稚園休園）

17日（金）修了日（幼稚園午前保育）

\* 10日（金）お別れ会 \*

年長さんが卒園を前に、在園児と一緒に遊んで特別ランチを食べる日です。

# なんでもない日の、子どもたちのこと

わかくさの今とこれから。子どもたちのことを思いつくまに。

園長 習田 和正



## 新しい春を前に

暦はいよいよ3月に。この時期になると、世の多くの大人たちがムズムズし始めます。私の場合はいつも目が先で、それから鼻に来るパターン。毎年欠かさず春の訪れを教えてくれる、仕事熱心な花粉さんです。

さて、2月のこども園はイベントもあったりして、子どもたちにとっては少し忙しい1ヶ月になったかもしれません。

乳児では保護者会を開き、保護者のみなさんと子どもたちの成長や進級のお話をしました。特に生活面では、自分の力でできるようになったことがぐっと増えてきたこむぎとゆずはさん。園の生活に慣れただけでなく、食べること、着替えること、日常のいろんな場面で、頼もしい姿を見せてくれるようになりました。

そして、2ヶ月越しの開催となったのが、幼児の発表会。歌の発表ができたことはもちろんですが、みなさんに見ていただいた会場の装飾や子どもたちの作品、そこにも子どもたちの頑張りがあったので、少し舞台裏のお話します。

まずは、通る人の気分を盛り上げてくれたエントランスの宙吊り飾り。幼児のコーナー遊びの中で生まれた「雪だるま」なのですが、実は乳児さんが色ぬりをしてくれた“合作”でもあります。最近、幼児に遊びに

来てくれるようになったゆずはさん、そしてこむぎさんも加わってくれて、たくさんの飾りが完成しました。乳児さんも、毎日通るエントランスに自分が塗った雪だるまが飾られているのが、どこか誇らしげ。

そして、幼児各クラスの粘土制作の中でも、自分の表現を楽しむ子どもたちの姿がありました。今回のテーマは、ももはなは「動物」、ふじは「自分の顔」、みそらは「フォトフレーム」。ももはなはこの1年ですいぶん器用になった指先を使い、動物の特徴を上手にとらえ、ふじは顔のできものやヒゲまで再現する子もいるほどの凝りっぷり。みそらは難しい絵の具の調色にチャレンジし、好きな色で自分だけのフォトフレームを作り上げました。



それぞれの場所で、みんなが自分の持てる力を発揮できた発表会。今年度の締めくくりに、そんな充実した時間を園のみんなで共有できたことを嬉しく思います。



さて、新しい春も、もうすぐそこまできています。新年度への期待と不安で、気持ちをムズムズさせている子どもたちですが、今しか味わえない気持ちも大事にしながら、残りの時間を過ごしていけたらと思っています。

## 科学する子どもたち

園庭の築山にびっしりと霜柱ができた2月16日の朝、“こおりの採掘”に盛り上がる集団から少し離れたところで、しゃがみこんだままじっと地面を見つめる女の子が一人。近づいてみると、地面に○が描いてあって、その中には大小二つの霜柱が置いてあった。

聞くと、氷の実験をしているのだと答えてくれた。しばらくして、その様子に興味を持った近くの男の子も加わって、二人で氷のことを話し始めた。

「こおりってね、冷たいから溶けるんだよ」

「食べるアイスも溶けるから、こおりだよ」

「こおりは溶けたらみずになるけど、みずは溶けない。ジュースも溶けないよ」

そんな楽しそうな議論をしているうちに○の中の氷もちょっとずつ溶けてきた。「小さいのは早く溶けるけど、大きいのは溶けるのに時間がかかるね」という結論を出して、二人は次の遊びに行ってしまった。



霜柱という存在は知らないけれど、氷は水からできることは知っていて、園庭にできた霜柱を「長い雨」に結びついたり、家でよく食べるアイスを氷の仲間だと思ったり。それっってもう科学の世界だね！と言えるようなことを、日々試したり考えたりしている子どもたちです。少し大げさかもしれませんが、時には大人より優れた観察眼と集中力を持って、遊びの中から学び、物事の原理や法則をつかみとっていく姿は、“小さな科学者”という肩書きもふさわしいかもしれません。

「なぜ」「どうして」という小さな疑問と興味の種をいっぱい持って、どんなふうに大きくなっていくのかなあ。子どもたちのやりとりを隣で聞いている大人の方がワクワクしてしまった、寒い朝的一幕でした。

【科学とは】＝特に自然の事物や事象について、観察や実験等の手法によって原理や法則を見出す技術のこと（Google調べ）





お知らせ



### はるやすみの5つのおやくそく

- 1、よふかしはしないで、はやね、はやおきをしましょう。
- 2、たべすぎにはきをつけましょう。
- 3、おかあさんやおとうさんがしんぱいするので、くらくなるまえにおうちへかえりましょう。
- 4、おでかけをするときは、おとなのひとのことをよくききましょう。
- 5、おうちで、おかあさんやおとうさんのおてつだいをいっぱいできるといいですね。

## 保健だより

4月からの進級、進学に向け、子どもたちも今からワクワクしているようです。あっという間に1年も終わりですね。病気やけがに気をつけ、残りの日々も楽しく過ごしましょう。

### ○新年度に向けて

新年度を控え、子どもたちが「1つ大きくなる」という気持ちでいっぱいになる時期です。中には、気持ちが不安定になり、今までしていなかったのに、指しゃぶりや爪噛みなどが出る場合もあります。園でも子どもたちの気持ちの変化に心を配っていきたいと思いますので、何かご家庭で心配なことがあればいつでも相談してください。

### ○アレルギーの季節がやってきます

春は気温が高くなり、花粉が多く飛散したり、ダニなどの活動も活発になったりすることから、アレルギーが発症しやすくなる時期です。最近では、アレルギーのある子どもたちも増えている傾向にあります。原因や症状は様々で、完治するのはなかなか難しいものですが、適切な対応をすることで症状は緩和されます。早めに受診し、医師に相談してみましょう。

#### <代表的なアレルゲン>

食物（卵、そば、小麦、乳製品など）、ダニ、ハウスダスト  
花粉（スギ、イネ、ブタクサなど）、動物など

#### <主な症状>

- ・呼吸器症状（くしゃみ、咳、鼻水、胸のゼーゼーなど）
- ・皮膚症状（じんましん、かゆみ、皮膚の腫れ、目の充血など）
- ・消化器症状（腹痛、下痢、嘔吐など）

### ○感染症にかかった場合の確認

園ではまだ出ていませんが、他の園や学校ではインフルエンザが流行し始めています。園児または同居家族が、インフルエンザを含め、登園許可証・届出書が必要な感染症に罹患した場合は、園への連絡とお休みをお願いしています。具体的な病名や登園が可能となる目安など、詳細は園のしおりにも載せていますので、ご不明な方は今一度ご確認をお願いします。



看護師・藤井 佑季



3月 保健の予定

6日（月） こむぎ・ゆずは 身体測定

7日（火） ももはな・ふじ・みそら 身体測定

わかかさこども園

wakakusa kodomoen